

## 令和7年度地方教育行政功労者表彰について

地方教育行政功労者として、本県では次の方々が文部科学大臣から表彰されます。

### 1 表彰の趣旨

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員等を文部科学大臣が表彰し、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資する。

### 2 被表彰者

	氏名	主要経歴
県教育委員会関係	すがた まさお 菅田 雅夫	前 広島県教育委員会委員
市町教育委員会関係	たかた ひでひろ 高田 英弘	元 府中市教育委員会教育長 現 竹原市教育委員会教育長
	まきはら あきと 牧原 明人	現 庄原市教育委員会教育長

### 3 被表彰者の概要

別紙のとおり

### 4 表彰式

- (1) 日時 令和7年10月9日(木) 12時20分から13時05分  
(2) 場所 文部科学省講堂(東京都千代田区霞が関3-2-2)

### 5 参考

この表彰制度は、昭和58年度に発足し、令和6年度までに本県からは、168名(県教育委員会関係19名、市町教育委員会関係149名)が表彰されています。

## 令和7年度 地方教育行政功労者表彰 被表彰者の概要

すがた まさお  
菅田 雅夫

## 1 略 歴

平成 29 年 10 月 1 日	広島県教育委員会委員に就任
令和 3 年 10 月 1 日	広島県教育委員会委員に再任
令和 7 年 9 月 30 日	広島県教育委員会委員を退任（任期満了） 2 期 8 年

## 2 功労の内容

## (1) 功労全般

卓越した見識と高潔なる人格、確かな洞察力・指導力に加え、企業の経営者の視点から、広島県教育行政の重要な施策の審査、決定に参画するとともに、学校訪問等を行い、教育現場の実態把握に努め、教育委員会会議の議論に反映させるなど、積極的に本県教育行政の推進に取り組んできた。

## (2) 主体的な学びの推進

これまでの知識・技能の習得を重視した学びに加え、獲得した知識・技能を活用し、協働して新たな価値を生み出すことを重視した主体的な学びの充実を図る「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を着実に遂行し、変化の激しい社会を生き抜くことのできる資質・能力の育成に積極的に取り組むとともに、「学びの変革」を先導的に実践する学校（広島叡智学園中学校・高等学校）や、県北における「学びの変革」リーディングスクールとしての県立三次中学校の設置に向けて尽力した。

## (3) 広島県教育の推進

「広島県教育に関する大綱（令和3年2月策定）」の策定に積極的に取り組み、一人一人が生涯にわたって主体的に学び続け、多様な人々と協働して新たな価値を創造する人づくりが実現できる、広島らしい教育の推進が行われるよう尽力した。また、教育委員会会議の適正な運営や活性化に寄与した。

## (4) 乳幼児教育の推進

子供が育つ環境に関わらず、全ての乳幼児にこの時期に育みたい力の育成に向けた教育・保育が、家庭、幼稚園、保育所、認定こども園などで行われ、小学校以降の教育の基盤が培われることを目指して『遊び 学び 育つ ひろしまっ子！』推進プラン（第二期）」を令和4年3月に策定し、本県の全ての乳幼児の健やかな成長に向けて尽力した。

# 令和7年度 地方教育行政功労者表彰 被表彰者の概要

たかた ひでひろ  
高田 英弘

## 1 略 歴

平成21年4月1日 府中市教育委員会教育長に任命  
平成25年3月31日 府中市教育委員会教育長を退任  
平成30年4月1日 竹原市教育委員会教育長に任命

## 2 功労の内容

### (1) 功労全般

府中市教育委員会においては、「小中一貫教育」の推進、コミュニティ・スクールの導入など、府中市の現在の教育環境の礎を築いた。

竹原市教育委員会教育長に就任以来、竹原市の第6次総合計画の基本計画に位置付ける施策分野のうち、「学校教育」、「生涯学習」及び「歴史・文化財」のそれぞれの目指す姿を実現するため、常に熱い思いと高い意欲を持ち続けながら、氏の有する求心力と豊かな知識・経験を基に指導力を発揮し、教育行政の推進を図っている。

### (2) 学校教育の推進

令和3年度から全ての学校に学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進している。各校の学校運営協議会委員等が横のつながりを深め、共に学ぶ場とする「竹原市コミュニティ・スクール連絡協議会」の令和7年度の立ち上げに向けて尽力するなど、竹原市全体のコミュニティ・スクールのさらなる発展・充実に寄与した。また、児童生徒がグローバルな視点で物事を捉えることができる資質・能力の育成に向けた取組、こども園・小学校・義務教育学校との組織的な体制の構築等による幼保小連携、及び児童生徒が減少し学校が小規模化することによって生じる教育指導上の課題解決を図るための「竹原市立学校適正配置計画」の策定など、様々な取組を牽引し、竹原市の学校教育の推進に尽力している。

### (3) 生涯学習の推進

生涯学習推進の一環として、知の拠点の機能強化を図るため、令和3年4月に図書館に指定管理者制度を導入し、サービスの質向上と効率的な運営を実現することで、利用者満足度の向上や生涯にわたって読書に親しむ環境の構築に貢献した。

竹原市の歴史的文化財の価値と魅力を広く発信するため、日本遺産認定に向けた取組を推進し、令和元年5月に日本遺産の追加認定に貢献し、認定後の認知度向上や活用に関する普及啓発活動においても継続して尽力している。

### (4) その他

ゴールボール教室や車いすバスケットボール教室を開催するなど、共生社会へ理解を深めることに貢献した。竹原駅伝競走大会について、競技者だけでなく市民ランナーも参加しやすい大会とすることで、参加者が増えスポーツ振興に寄与した。

# 令和7年度 地方教育行政功労者表彰 被表彰者の概要

まきはら あきと  
牧原 明人

## 1 略 歴

平成 26 年 4 月 1 日 庄原市教育委員会教育長に任命  
令和 3 年 3 月 31 日 庄原市教育委員会教育長を退任  
令和 3 年 7 月 1 日 庄原市教育委員会教育長に任命

## 2 功労の内容

### (1) 功労全般

教育長に就任以来、庄原市長期総合計画に掲げる「学びと誇りが実感できるまち」の実現を目指し、教員・行政の経験を基に、強いリーダーシップとともにふるさと思いの熱い心で、教育行政の推進・充実に尽力している。

### (2) 学校教育の推進

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、各学校がそれぞれ設定している研究テーマについて成果・課題を提案する授業研究公開を行うなど、授業改革を進め、授業力がつく研究や実践を行っている。学校や図書館、家庭や地域などが、子供と一緒に本読みが意欲的にできる読書のまちづくりを進めるなど、「本に親しむ、本を読む」子供の育成に努め、平成 29 年度から令和 5 年度の間に、子供の読書活動優秀実践校に 4 小中学校、1 団体が選出され、文部科学大臣表彰を受賞している。キャリア教育及び総合的な学習の時間の学びの研究・実践に力を入れた取組を継続して行い、令和 6 年度には、庄原市立西城中学校が「キャリア教育優良校」として文部科学大臣表彰を受賞している。平成 26 年度からは、毎年度「教育フォーラム」を開催し、子供たちが学校で取り組んでいる内容や課題について提案したり、講師を招聘した講演を行ったりするなど、保護者・市民と教育の重要性を共有する土壌をつくっている。また、少子化に伴い、学校の小規模化が進む中で、「学校適正規模・適正配置計画」の策定や取組を行い、より良い教育の環境づくりを進めるとともに、ふるさとの学びや体験がどのような状況にあっても心の支え・原動力となる教育の創造に努めている。

### (3) 生涯学習の推進

自治振興区ごとに、今日の課題を解決する内容や住民意識を高める内容など、八つの取組分野や具体例を提示し、社会貢献や共に考え合う講座内容を中心とした学習展開を働きかけ、地域の活性化につながる取組を行っている。また、庄原市文化協会や関係団体と連携を深め、美術展覧会や文化祭、ロビーコンサートなどを継続して開催するなど、市民と一緒に芸術・文化活動を推進している。

スポーツ活動では、「市民一人一スポーツ」を進めるため、各種スポーツ団体などと連携を図り、各種大会やイベントの開催、障害者スポーツの取組、青少年のスポーツ参加促進と競技力向上に向けた取組を進めている。